

公表日 2025年 1月 20日

事業所名 ごぼんはうすくら 廿日市教室

保護者等数(児童数) 18名 回収数 13件(割合73%)

		チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ			わからない
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2		1	教室、その他のスペースが、広くて開放感があります。	教室内のものを整理整頓し、落ち着いて遊べるスペースを常に確保するように心がけています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2	配置数が適切かどうかは分かりませんが手厚い支援をして頂いています。	職員数を常に適切に確保しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			5	綺麗に片付けられていて、子どもが落ち着いて生活でき、とても成長できていると思う。	床はほぼフラットになっていますが、場所によっては死角になる場所もあり、こどもの行動を常に見守り、安全・快適に十分気を付けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1	ブログで拝見する限りではとても清潔感を感じられます。	個人の活動、年齢に合わせたプログラムを考え、固定化しないように支援しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	3				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	2				普段から相談に乗ってもらい、担当者会議でも支援して頂き、真剣に取り組んでくださっています。わかりやすい計画内容です。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	3		2	ガイドラインの内容はよくわかりませんが、満足しているのでこれからよろしくお願いたします。	その時の状況に対して、対応できる療育を目指しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2		1	いろいろなイベント、年齢に合わせた行事が用意してあります。	児童発達支援計画に基づいた支援を行うよう、心掛けています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13				こどもがワクワクする活動内容だと思います。	固定化しないよう、新しいプログラムも取り入れるように、職員でよく検討しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2		2		個人情報等の関係のため、現在は行っていません。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	2		1	最初の説明でお聞きしました。	契約時だけでなく、疑問に思われた場合はしっかり説明していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11		1	1		しっかりと説明し、個別カンファレンスを続けています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10		2	1		要望がないため、特に行っていません。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	13				ノートやお話で詳しく説明を受け、相談にものってもらえています。	児童の発達段階はスタッフ全員で理解し内容も個別にステップアップしていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				気が付いた時に何でも相談させていただくと即答していただけるので助かってます。	ノートに書けないこともお伝えするようになっています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1	送迎時の面談と、電話などで、親身になって対応していただいています。	保護者の方々のお話をよくお聞きし、共感を持って対応しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	3	2		特に要望がないため、行っていません。
保護者 への 説明 等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2		1		ケース会議、カンファレンスを欠かさず、相談を受けたことは共有しています。時間をかけずにすぐ対応できるようにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				配慮されていると思います。	意思の疎通や情報伝達については、しっかり配慮するよう努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13				月の予定表やブログ、インスタグラムで発信されています。	イベントカレンダーやインスタグラムなどで、情報をお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	3			ブログなどで見る限りでは、注意されていると思います。	十分留意して、取り扱っています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2				マニュアルを策定し、文書等で保護者に周知、説明しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2			ブログ等で避難訓練の様子を確認しています。	定期的に避難、救出その他の訓練に取り組んでいます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2	1	1		安全の確保が十分に行われた上で、支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				すぐ対応していただけていると思います状況も詳しく説明していただけています	事故等が発生時には、保護者に速やかに連絡し、写真や動画を取るなど、しっかりと説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1		1	「今日行く？」と聞いてくるので、「いくよ！」と答えると「やったー！」と嬉しそうに通所しています。	期待に応えていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	1		毎日の笑顔・教室の話を聞いていると私たちも安心します。	期待に応えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				イベントが楽しい。これからも楽しみです。	期待に応えていきます。

公表日

2025年 1月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 廿日市教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		児童の活動に合わせて、遊びやすい空間を心掛けています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		定員10名に対して、職員の数には適切に配置されています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		バリアフリー化にはなっていないが、情報伝達は毎日欠かさず、行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		グループに分けて楽しめる配慮をしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		学校の宿題や1人になりたいた状態になった時の配慮をしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	ミーティングは必ず行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間で共有し、内容を検討する時間を設けています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝礼、夕方の送迎時後、また気がついた時にも、話し合いの機会を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	外部評価を業務改善に繋げています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	希望する職員には、受講の時間を設けています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		職員で確認し、公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	5	意見交換は常に行っています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	こどもたちの日々の様子を確認し、共有しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童の個別特性を踏まえ、無理なく達成感を味わえる計画を作成し、共有しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	型にはまらず、日々変化の様子を観察し共有しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	5	ガイドラインに沿い、本人や家族の支援に努めています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		担当を決めて、全員で共有しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		体操やリズムは曜日を決めているが、その他は意見を出し合い工夫しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		集団活動を主としています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼で、内容を把握し、支援に繋がっています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		朝礼、終礼を行っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日報を欠かさず、共有することを心掛けています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	4	必要であれば、期間を開けず、少なくとも6ヶ月毎に見直しています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		定員児童が少ないことで、職員全員が理解できているので、誰でも参画できる状態です。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	障害福祉、保育園、学校との連携を取っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	それぞれの意見を交換し、教室での児童の様子と外部の様子を共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		文書にて共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				常に設けています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	個人情報等のため、現在は行っていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		電話、来所、送迎の際、行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	特にご要望がないため、行っていません。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	6	契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	5	送迎時や電話など、その時々、また6ヶ月に1回アセスメントを渡しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2		保護者からの同意を得るまで、改善しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		職員間で共有し、迅速に対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	個人情報等のため、現在は行っていません。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		職員全員が迅速に対応できるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		ホームページ、インスタグラム、ブログなどで発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		外部で話すことも厳禁とし、十分留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		こどもだけでなく、保護者とのコミュニケーションも取るよう、配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	個人情報等のため、現在は行っていません。	
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを策定し、訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年2回実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者より病院での処方や様子を詳しく聞いています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者より病院での処方や様子を詳しく聞いています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に沿って、安全管理された中で支援を行っています。	

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		小さなことでも報告書を作成し、職員間で共有、事故防止に繋げています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年2回研修、その他月1回のミーティングで確認しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		どのような場合でも、身体拘束にあたることは行いません。	

公表日

2025 年 1 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 廿日市教室

保護者等数(児童数) 30名

回収数 25件(割合86%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23			2	確保して下さっていると思います。	児童の人数と部屋の広さは適切だと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2		3		スタッフの人数を確保しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23			2	広いスペース、設備で安心しています。	肢体不自由児のご利用がないので、バリアフリーには対応しておりません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25				見学に行ったときに広くて、綺麗でした。	常に清潔を保つよう心掛け、個別支援できる空間を確保しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1		2	小さい時から知っている先生もいて、いろいろ相談しやすいです。	こどもたちの特性等に合わせた支援をしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25					事業所の支援内容とプログラムは合致しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1		1	様子がよくわかり、成長も感じられています。	保護者との相談を密にし、プログラム支援計画を考えています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2		3		支援に必要な項目を設定し、具体的に支援内容を設定している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2		1		放課後等デイサービス計画に沿った支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1			色々な引き出しを持たれていて、子ども自身も楽しんでいるようです。	固定化しないように、児童の特性を見て、工夫しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	21	2		2	週末など色々なイベントを考えられているので、交流は難しいのではないのでしょうか。	個人情報の関係から、機会を持つのが難しいと思われます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	2				見学の際に説明しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	2		1		契約時に説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	3	1			今後、検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20		1	4	モニタリング、送迎時に意見をもらったり、相談にのってもらっています。	一日の細かい成長も見逃さず、お伝えすることを忘れず、支援していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	4	2	2	電話、送迎、ノートなど、どれをとっても真実に助言していただいています。	電話、面談、ノート。担当者会議などで支援しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23			2	こどもの笑顔を見ていれば、私も安心です。満足しています。	期待を裏切らないように、良い支援を続けていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	3	1		個人情報の関係で、難しい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2		1	教室内で少しの変化も電話していただき、機転の利く判断をいつもされるので、こちらも安心して通わせてもらうことができています。	アレルギーや細かいことも逃さず見守り、即答できるように、スタッフ一同心掛けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1		1		送迎時や電話対応は大切にしています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25				ホームページ、ブログなど、日々の様子をのせておられるので、楽しく拝見させていただいています。	日々の様子、また利用時の少ない児童の成長がわかるように、配慮しています。インスタも始めました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1	されてると思います。	教室外で話すのも厳禁厳守としています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	2	2		年に2回の防災訓練、非常時対応の詳しいマニュアルはブログや文書でお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23		1	1	ブログで消防訓練などの様子が見られるので、把握しております。	いつ災害が起きても焦らない状態で、対応できるよう、年に2回訓練しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1		2		障害物の除去、危険箇所などでの見守りなど、十分に配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25					電話で速やかに連絡し、対応しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				大好きな先生もいて、毎回、にこにこしながら通っています。	楽しい気持ちになるよう、心掛けています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1		1	土日のイベントは楽しみで、「今日はこばん？」と聞いてくるほどです。	個人に合った支援の方法を日々考え、進めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1			いろいろ工夫されていて、多くの経験の中、成長できていることに満足しています。	個人に合った支援の方法を日々考え、進めています。

公表日

2025 年 1 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら 廿日市教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースに合わせて、利用定員に配慮しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員数を確保しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	6	こどもの特性に応じた対応をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	アレルギー児童もいるため、しっかり清掃し、おもちゃの消毒なども行い、清潔を保っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	宿題や心を落ち着かせたい時の対応として、集中するためのスペースを設けています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	その都度、職員間で話し合い、改善点なども共有しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	4	課題、改善点を次につなげるようにしています。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝礼時、帰りの送迎後などに話し合う機会を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	外部評価により、業務改善につなげています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	スキルアップのための研修など、受講できる機会を設けています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		職員がすぐ確認できるように、公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2		こどもと保護者のニーズをしっかりとくみ取るように、6か月ごとにアセスメントを行っています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画は職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		フォーマルなアセスメントと日々の行動を照らし合わせて、確認しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		送迎時や教室に来ていただいたり、場合によってはご自宅にお伺いして、支援させていただいております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		担当者による立案について、職員間で話し合っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		新しいプログラムも検討のうえ、取り入れられています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動と集団活動の組み合わせで、メリハリをつけた支援を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼などで、スケジュールを確認して確認して、取り組んでいます。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		事後報告書の記入や支援後の話し合いにて、共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務日報などに記入し、職員間で共有しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月ごとに行い、見直しています。	

援 の 提 供	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2		支援計画に従って行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		自己選択できるように、こどもの特性に合わせた対応を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		その都度、連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校とも、連絡を適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2		就学前の保育園や幼稚園などや、児童発達支援事業所等とも情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		対象児童がいいため、行っていません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		連携を図り、助言をいただいたり、研修を受ける機会は設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		個人情報等のため、現在は行っていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1		6 特に参加していません。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や電話、面談等で、よく話し合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		要望がないため行っていません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		書類を作成し、相互で確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談や電話等で、助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7		個人情報等のため、現在は行っていません。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		ホームページやブログ、インスタグラムなどで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		十分留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		個人情報等のため、現在は行っていません。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを策定し、職員や家族の方々に周知し、訓練も実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に非難、救出等必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者の方から情報をいただき、職員間で共有しています。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者の方から情報をいただき、アレルギー源や対応などを職員間で共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画に沿って、安全管理がされた中で支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		家族の方々に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの報告書に記入し、小さなことでも共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修会を設けて、適切な対応を職員間で共有しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2		どのような場合でも身体拘束に当たることはいたしません。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら廿日市教室		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども2名に対して、職員が1名つくように体制を整えているので、個々の特性にしっかり対応することができる	こども個人のファイルを作成し、職員全員で把握し、問題や疑問はすぐに話し合い、共有する	慣れたスタッフに心を開く傾向なお児童がほとんどなので、担当を決めてしえんしていく。
2	定員が10名なので、外出イベントに参加しやすい	外出は集団活動として地域との交流にもなるので、見守りを強化して取り組む。	障害の特性別に担当を決めて、落ち着いた行動が出来るようになることで、地域のイベントにも参加できるよう、もっていく。
3	正社員が多いので、シフト制ではあるが、情報共有がしやすい	子どもがいない時間等にミーティングを開いて、こどもの状態や問題などを話し合う	同じ特性の児童をグループ分けをして、担当をつける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者の交流が難しい	保護者の方の勤務時間の調整、また個人情報等の関係で、なかなか参加者が集まらない	土日で保護者の休みに合わせて、年に1回でも参観日を計画していく。
2	職員は有資格者ではあるが、ご利用児童の特性への経験が浅い。	研修の受講や参考文献等の紹介、日々の事象への対応について事細かに話し合うなど、理解を深めるよう努めている	児童の少ない日に教室内の研修の場を設け、スキルアップに繋げていく。
3			